

名古屋第二赤十字病院で診療を受けられる患者さんへ

～臨床研究に関する情報公開について～

当院では、下記の研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、カルテ情報等の診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合、または研究の詳細についてお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

研究課題名	未熟児・新生児に対する経鼻式呼吸補助装置「Humidified high flow nasal cannula」の有効性に関する観察研究－従来の治療法との比較－		
研究実施予定期間	院長が研究実施を許可した日 ～（西暦） 2023年 3月31日		
研究実施診療科	小児科		
研究の倫理審査等	治験・臨床研究審査委員会審査日	2016年 4月 25日	
	院長が研究実施を許可した日	2016年 4月 26日	
対象となる方	対象期間内に、名古屋第二赤十字病院小児科 NICU へ入院して経鼻式呼吸補助装置「Humidified high flow nasal cannula (HHHFNC)」もしくは「nasal continuous positive airway pressure (nCPAP)」を装着した方で、出生体重が 1500g 未満の方		
対象期間	（西暦）2010年 4月 1日 ～（西暦） 2016年 3月 31日		
当院の研究責任者	所属	小児科	氏名 田中 太平
主たる研究実施機関	名古屋第二赤十字病院		
研究の意義	未熟児・新生児の慢性呼吸障害を軽減するために使用される経鼻式呼吸補助装置のなかで、当院では 2014年 7月から導入されている HHHFNC は簡便な装置で母児への負担軽減が大きなメリットです。特に出生体重の小さな児で、従来の nCPAP 法と比較して予後の関連を明確にすることが、母児の愛着形成促進や予後の改善に重要です。		
研究の目的	HHHFNC を導入した児としなかった児の予後を後方視的に調査して、よりよい早産児の管理法を確立すること		
研究の方法	対象となる方において、臨床情報を診療録を振り返って収集し、適応疾患、導入の効果、導入成功率、副作用、発達予後などを調査します。		
研究に使用するもの	診療録から、在胎週数、出生体重、性別などの背景情報、HHHFNC 装着の有無、時期や期間、治療経過や検査所見（血液検査、画像検査）などの情報を収集し、匿名化をした上で使用します。		
結果の公表	関連学会、論文等で発表の予定です。		
個人情報の保護	個人情報是对象者が特定できない形で取り扱い、本研究以外の目的では使用しません。		
研究の資金源	本研究への資金提供はありません。		
利益相反	本研究に関する利益相反はありません。		
問い合わせ先	名古屋第二赤十字病院 小児科 田中 太平 電話 052-832-1121（代表）		